

研究構想シート		学校名	江津市立高角小学校
		氏名	吉田 美穂
A 研究主題 児童が、自らの考えをもち、互いの考えを伝え合う授業づくり～深い学びの姿を求めて～			
B 研究の目的 自分の考えを相手に伝え、一緒に考え、協働していくことができる力をつける。そのために、職員全体で、よりよい方法を探っていく。			
C 子どもの実態 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 言われたこと、すべきことに対して、素直に、真面目に取り組もうとする。</li> <li>• 主体的に考え、取り組む力が弱い。</li> <li>• 褒められるとやる気になり、どんどん取り組む。</li> <li>• 「できた、わかった」を経験すると、もっと意欲的になる。</li> <li>• 自分の考えをもとうとはしているが、具体的な考えをもつことが苦手である。</li> <li>• 自分の考えを話す、伝えることが苦手である。</li> <li>• 友達の考えを聞いて理解したり、自分の考えと比べて考える力が弱い。</li> <li>• 体験的な学習に意欲的に取り組む。</li> <li>• 分からないこと、難しいことに出あうと、あきらめてしまう。</li> </ul>	E 手立て・内容（研究仮説） <ul style="list-style-type: none"> <li>• 自分の考えを、絵・図・言葉などを使って、表現する機会を多く取り入れる。（タブレット、ノートなどを活用して）</li> <li>• 聞き方や話型、伝え合いの仕方を示す。</li> <li>• 授業の中で、伝え合う場（ペア・グループ・全体）や時間を確保をする。</li> </ul>	D めざす子どもの姿 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 自分の考えをもち、相手に分かりやすく伝える。</li> <li>• 友達の考えを聞いて、もう一度考え、自分の力にする。</li> <li>• 困った時に、ヘルプを出すことができる。</li> <li>• 課題解決に向かって、チャレンジし、あきらめない。</li> <li>• 友達と関わりながら、課題を追究する。</li> </ul>	
	F 検証方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>• タブレット、ノートなどを基に、子どもの変容を見取る。（教師の側、子どもの自己評価）</li> <li>• 実践した後の協議のよる振り返りをする。</li> <li>• 1学期末、2学期末に、学年部で実践したことを振り返る。</li> </ul>		
	G 研究計画 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 子どもの実態（良いところ、課題）、めざす姿を出し合う。（5月） →手だてを考える。→共通理解する。【職員相談】</li> <li>• 日々の授業の教材研究・実践、研究授業を通して、情報交換を行い、互いに学び合う。</li> <li>• 1学期、2学期、3学期に研究授業を行い、振り返り、修正・追加を行う。</li> <li>• 一年の振り返りをし、次年度へつなげる。</li> </ul>		